

救急隊員向けシミュレーションプログラム 活動記録システムを用いたシミュレーショントレーニング プロスト：PROST (Prehospital Orbital Simulation Training)

プロストは、救急隊が判断に迷いやすい症例、特に内科的疾患や複合的要因による疾患をシミュレータで再現したトレーニングにより、傷病者観察時の病態評価能力を高め、アセスメントに基づく病院選定、及び、早期搬送により救急活動時間の短縮と臨床推論能力の向上を目指す研修方法です。これはレールダルメディカルジャパン株式会社、仙台市消防局、クリニカル・スキルスラボで開発したプログラムで、2021年度は宮城県内の消防局から参加チームを募り各回3名×3チームを定員として開催しました。

シミュレーションの流れと学習内容

項目	内容	能力
出動準備	通報を受け、隊長が中心となり、疾患を予測し現場活動のプランニング	予測
現場活動	効率的な情報収集と系統的なアプローチによる病態観察	状況把握
判断・処置・特定行為	初期評価からアセスメントし特定行為の判断や具体的な対応を検討	解釈/判断
収容依頼	病院選定を行いファーストコールを実施	報告
振り返り	ログやビデオを用いたディスカッション（プラスデルタ法）	デブリーフィング

実施の合計回数	5回（2022年1月12日、1月26日、2月7日、2月21日、3月23日）
参加チーム合計数	9チーム
講師	小林正和、佐藤哲哉、横川裕大 （東北大学病院高度救命救急センター・医師）